

# 杉戸町今昔拾遺録

温古知新  
杉戸の歴史をばれ話

第27回

## もうひとつの古墳2

前回では、杉戸町大塚の豊明神社古墳から出土した壺の底に穴が穿たれていたことを紹介しました。そして、そこにはひとつの問いを残しました。底に穴を穿つというこの身ぶりは、世代を越えて受け継がれたものなのか、と。

手がかりは、同じ中川低地にありました。春日部市の倉常、豊明神社古墳と同じ自然堤防の連なりに営まれた『須釜遺跡』です。すでに二千年ほど前の弥生時代中期、人々はこの低地に根を下ろし、死者を葬っていました。いったん土に還した遺体から白骨を拾い集め、壺に納めてふたたび埋葬する。これは再葬墓と呼ばれる独特の葬制です。そして、その壺の底にもまた、あえて穴が穿たれていたのです。

弥生時代中期の須釜遺跡から、古墳時代初頭の豊明神社古墳へ。底に穴を穿つ身ぶりは、数百年の時を隔てて、確かにこの低地で繰り返されたのです。もちろん、二つの壺を直に結ぶ糸があったと言いきることはできません。しかしながら、同じ低地に生きた人々が、葬送の儀礼において、ともに器の底を貫いたという事実は重く響きます。

それは厳密に定められた作法だったというより、死者を送るとき、人の心が自然に落ち着く形だったのではないのでしょうか。底を抜かれた壺は、いまもその問いを、静かに湛えています。



遺跡位置図

(社会教育課 町史・文化財担当編)



## わが家のアイドル



掲載された方には**特製カード**をプレゼント！  
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

詳しくはこちら▶



こちらから簡単応募！▶



たけい ゆづる  
**武井夕弦**  
ちゃん

令和4年9月15日生

元気いっぱい、我が家の太陽！



ほり え ひろき  
**堀江泰伎**  
ちゃん

令和2年3月10日生

おまつりだいずき♪



まじま  
**木島もすく**  
ちゃん

令和元年9月1日生

沖縄で保護されて我が家にやうてきました！



ちほ  
**千葉ハビ**  
ちゃん

令和6年6月7日生

お耳がチャームポイントだよ！



みやま  
**宮城ポム**  
ちゃん

令和7年10月19日生

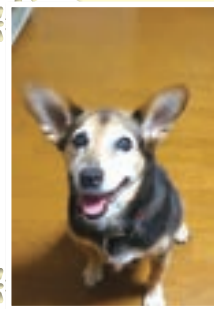
だっこしてよ!! 甘えん坊ちゃんです。



よしだ  
**吉田ハル**  
ちゃん

平成22年4月28日生

もう15歳です。いつまでも元気でいてね。



※大好評につき現在多くのご応募をいただいております。

掲載は受付順となりますので、応募から掲載までお時間がかかる場合があります。ご了承ください。



UD FONT  
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用しています。



杉戸町ホームページ



メール配信「すぎめー」



広報スマホ版マチイロ



杉戸町公式LINE



杉戸町公式X



杉戸町公式Instagram